

設立趣旨書

1 趣旨

近年、日本では高齢化の進行や疾病の多様化に伴い、視覚に不安や障がいを抱える方が増加しています。更に「見えない・見えにくい」ことで、生活そのものをあきらめてしまう人がいます。外出を控えるようになり、人とのつながりが減り、やがて社会から孤立していく――

それは決して特別なことではなく、地域の中で静かに起きている現実です。

視覚に不安や障がいを抱える方の困りごとは外見からは判断しづらく、「困っていること」が周囲に伝わりにくい特性があります。そのため、適切な支援や配慮につながらず、不安や不自由を一人で抱え込んでしまう方が多く存在しています。

鳥取県においても同様に、視覚に課題を抱える方々が適切な支援や情報にアクセスしにくい状況があり「どこに相談すればいいのかわからない」「制度があること自体を知らなかった」「少しの工夫で生活が楽になるのに、その情報に出会えなかった」といった声が多く寄せられています。

こうした現状を変えたい。つながることで安心できる社会をつくりたい。

その強い思いから、視覚に不安のある方やそのご家族に対し、相談支援、情報提供、生活支援の充実を図るとともに、地域社会における理解促進を目的として設立に至りました。

2 申請に至るまでの経過

令和3年8月	発起人が視覚障がい者相談及び支援業務に従事し、地域における視覚障がい者支援の現状と課題の掘り起こしを当事者と共に行う。
令和4年3月	視覚障がい者に必要な支援（コミュニティの形成、ICT支援等）を実施。
令和8年3月	本活動を更に幅広く展開し、ニーズに対し柔軟に対応するとともに、安定的かつ永続的な対応とするため組織化の検討を行い、特定非営利活動法人の設立を決定。
令和8年4月15日	第1回 設立準備会開催。
令和8年8月1日	第2回 設立準備会開催。
令和8年9月23日	設立総会開催。定款、事業計画、役員選任等について決議し、設立申請に至る。

令和8年9月23日

NPO法人 視覚サポートBASEあいりんく鳥取
設立代表者 蓑原 麻里子